

平成31年（2019年）3月定例議会本会議（3月27日）

## 予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、予算決算常任委員会に付託されました議案第15号から第27号まで、第30号及び第33号から第35号までの以上17件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

本議案は、2月7日の予算決算常任委員会理事会において、担当する各分科会に送付することを決定し、3月6日、7日、8日、12日、13日、14日、15日及び18日の分科会において、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は、3月25日会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑及び総括質疑はなく、討論において、小林伸行委員から、議案第15号 平成31年度横須賀市一般会計予算について、「平成31年度予算において、国の幼保無償化に上乘せし、対象を拡げる『幼児教育・保育無償化事業費』が計上されている。研政では、かねてから保育の無償化に対しては、待機児童ゼロが大前提と訴えてきており、また、市長も平成29年の代表質問において、待機児童をゼロに近づけ

ることは無償化に向けた取り組みの大前提であると考えていると答弁をしている。そのような背景のもと、平成30年度予算案の段階では、待機児童がゼロになる見込みとの情報もあったため、同年の幼保無償化には反対しなかったが、結果的に待機児童ゼロとはならなかった。平成31年度については、4月時点の待機児童ゼロは難しいとの見通しが、代表質問の中で示されたため、幼保無償化を認めるべきか悩み、市の単独予算を投入せずに国の動きを待ってもいいのではないかと考えもあった。しかし、保育士確保のための待遇改善を予算化し、加えて小規模保育・家庭的保育、企業内保育等の様々な手法を検討していることから、これらの施策によって、無償化対象の拡大を予定している平成31年10月までには、待機児童ゼロに目途をつけることを期待し、議案第15号に賛成する。」旨の意見があり、採決の結果、議案第17号、第19号、第20号、第22号、第23号、第25号、第26号、第30号及び第33号の以上9件は全会一致で、議案第15号、第16号、第18号、第21号、第24号、第27号、第34号及び第35号の以上8件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。